

「天城湯ケ島ふるさと叢書」総目次

第一集 井上靖と天城湯ケ島 (平成3年8月22日発行)

発刊のことば
メッセージ

下山 忠男
大岡 信

I 文豪を偲びて (井上靖の生原稿復刻)

子供の頃
故里美し
湯ケ島小学校詩碑
天城中学校校歌

II 目で見る文豪のおもかげ

文学碑
新聞・広報記事
書簡・原稿・色紙・写真

III みんなで綴る井上靖 —その文学と背景—

井上靖とその父母の思い出
新旧井上邸 薬局の窓口
出征兵士の思い出 —井上靖と父—
『しろばんば』の教師たち
『しろばんば』への招待
『しろばんば』探訪
インタビュー
わたしが出会った「洪作」たち
井上靖略年譜
あとがき

城所 章 32～33
宇田 博司 34～35
伊藤 春秀 36～37
安藤 裕夫 38～40
藤澤 全 41～47
小長谷 榮一 48～51
矢込 法子 52～54
道下 志津代 55
福田 宏年 56～61

第二集 追悼・井上靖 (平成5年1月29日発行)

巻頭言

井上 ふみ 5

I 我が父を語る

講演記録 「我が父を語る」

井上 卓也 9～18

II 証言・井上靖の学友たち

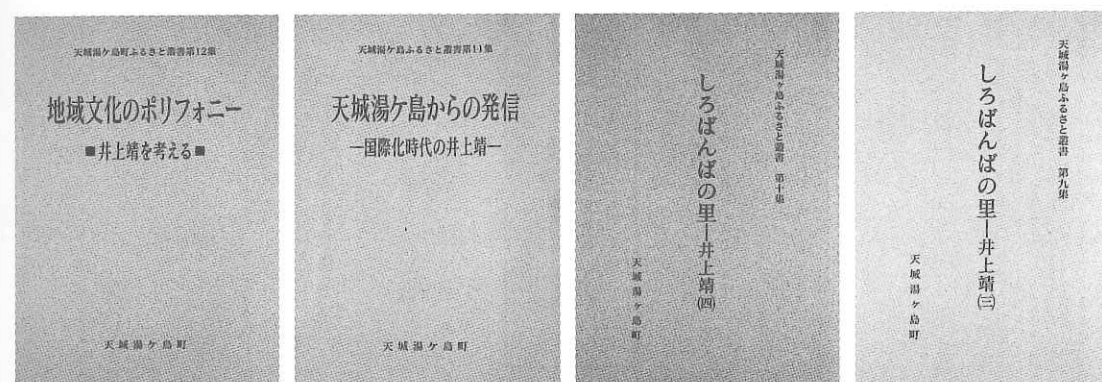
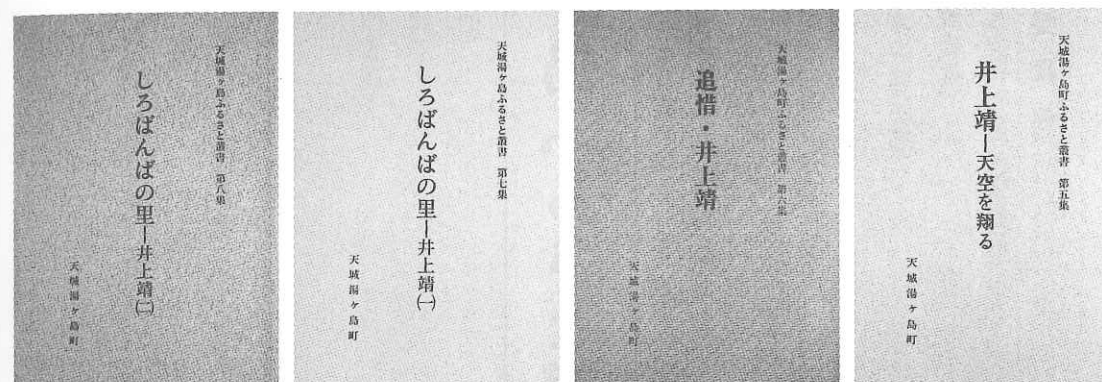
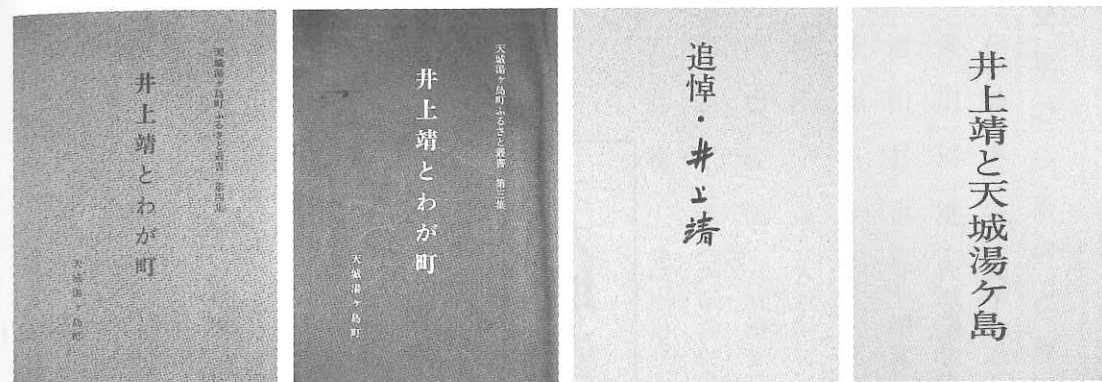
靖についての小片三つ
同級生の思い出
井上君さようなら
井上靖氏を偲んで
空気のような仲間
井上靖氏との思い出
井上靖さんの人と文学

金井 廣 21～24
星野 重雄 25～27
足立 浩 28～30
山内 六郎 31～38
橋 知来 39～42
岩田 夫 43～44
川崎 武夫 45～53

III 井上靖をめぐる七つの断章

目に見えない糸のみちびき
露木前館長を偲ぶ会
井上靖『グウドル氏の手套』のモデル
原稿の行方
一期一会
秋思の午後

山川 泰生 57～60
傳田 朴也 61～62
藤澤 全 63～65
宇田 博司 66～69
三田 芳彦 70～71
石原 南盛 72～79



凡例

1. 本総目次は、13年間にわたって継続した「天城湯ケ島ふるさと叢書」全巻を一括、記録として一覧化したものである。
2. 本町の名誉町民であった井上靖を顕彰するという含みもあって、各方面からさまざまのご寄稿をいただいた。作成に当たっては、その全体が一目瞭然となるよう工夫した。
3. 外国語のものは、これを日本語訳で採り、寄稿者名の下にその訳者名も併記した。
4. 創刊号から第12集までのものは各表紙写真を上に掲げた。第13集の写真は、ここでは間に合っていない。

第13集

あとがき

第五集 井上靖—天空を翔る (平成8年1月28日発行)

写真資料 しろばんばの唄 (楽譜)
第4回「追悼・井上靖」の記録
夏の文芸劇場・天城湯ケ島

I	記念講演の記録		
	講演要旨 「全国の井上靖文学館・記念館の案内」	浦城いくよ	14～22
II	夏の文芸劇場・天城湯ケ島町・井上靖—天空を翔る—		
	開催の記録	安藤 裕夫	24～25
	メッセージ	吉永小百合	26
	井上靖の詩—「少年」にふれて	大岡 信	27～30
	夫・靖の若き頃	井上 ふみ	34～35
	父・靖の思い出	井上 修一	36～38
III	靖をめぐる断章		
	井上さんと原稿の思い出	澤野 和彌	40～41
	井上先生とかえる会	高野 整	42～45
	井上文学のもたらしたもの—歴史小説を中心に—	中島 和夫	46～50
	その詩業の完結	佐藤 章	51～55
	正倉院展—「漆胡樽」を観る—	傳田 朴也	56～58
	井上靖のモニュメント—酒田市の「氷壁」碑について—	藤澤 全	60～62
	父の残したもの—井上靖の姪として—	藤原 雅子	63～65
	ふるさとの唄「しろばんば」成立の記録		66～68
	「しろばんばの唄」を作詞して	栗原 千晶	
	「しろばんばの唄」を作曲して	小林 登	
	「しろばんばの唄」を編曲して	土屋 進	

あとがき

第六集 追惜・井上靖 (平成9年1月26日発行)

写真資料 「しろばんば」の舞台 (大正期の湯ケ島「宿」)
資料・井上靖の書簡 (叔父欣一宛三通)
第5回「追悼・井上靖」の記録

I	記念講演の記録		
	講演記録 「父・井上靖について」	黒田 佳子	20～24
II	特集・高安敬義		
	兄・高安敬義	桜井 幸子	26～27
	兄・高安敬義	高安 宗顕	28～29
	敬義兄を思う	高安 直文	30～31
	高安敬義君を悼む (高安宗顕氏宛書簡)	小林 敏明	32～33
	遺作三篇 (詩「箴言詩」「庭石」「友へ」)	高安 敬義	34～35
	「石庭—亡き高安敬義君に—」「友」	井上 靖	36
	亡き友・高安敬義	井上 靖	37～39
	付記	藤沢 全	40～41
III	井上靖をめぐる断章		

井上先輩のお墓
あとがき

戸松 信康 80～81

第三集 井上靖とわが町 (平成6年1月29日発行)

写真資料 『しろばんば』時代の地図
「追悼・井上靖」の記録
『夏草冬濤』の周辺

I	我が父を語る		
	講演記録 「父 井上靖」	井上 修一	14～27
II	インタビュー・ゆかりの人々		
	石川 静子さん (聞き手・城所章)		30～34
	間宮 精一・満子さん (聞き手・城所章)		35～38
	井上 正則さん (聞き手・足立まり子)		39～47
	山本 らくさん (聞き手・石原南盛・安藤裕夫)		48～53
	相原 美和さん (聞き手・石原南盛・安藤裕夫)		54～58
III	井上靖をめぐる六つの断章		
	若者への遺言	傳田 朴也	60～62
	『夏草冬濤』の周辺	大川 喜雄	63～65
	しろばんば時代の地図	宇田 博司	67～68
	戦争と平和の思案 —井上靖の硫黄島鎮魂碑—	藤澤 全	69～72
	同人詩誌『日本海詩人』と『焔』のことなど	福田 美鈴	73～78
	井上靖先生初めての船旅	宮野 力哉	79～81

あとがき

第四集 井上靖とわが町 (平成7年1月29日発行)

写真資料 「しろばんばの碑」撰文
第3回「追悼・井上靖」の記録

I	記念講演の記録		
	講演記録 「六十年を共にして」	井上 ふみ	12～25
II	資料・井上靖の書簡 (修善寺工業高校への手紙)		
	修善寺工業高校創立五十周年に寄す	井上 靖	28～29
	特別寄稿文に接して	大川 喜雄	30～31
III	ゆかりの人々 (インタビュー第2回)		
	竹内 海晴さん (聞き手・大川喜雄)		34～37
	杉山 忠治さん (聞き手・城所章)		38～41
	森田 依子さん・藤原 雅子さん (聞き手・藤沢全)		42～47
IV	靖をめぐる断章		
	井上隼雄閣下との囲碁の思い出	永岡 昶	50～52
	井上先生と露木豊館長のこと	傳田 朴也	53～55
	醒めてあれ —井上靖氏のこと—	金子 秀夫	56～59
	「先生」との、折々の事	二村 次郎	60～62
	「井上靖」雑感	原 祐子	63～68
	井上靖のモニュメント —青森の文学碑—	藤澤 全	69～71
	「しろばんばの碑」建設について	鈴木 之夫	72～73
	—宇田博司氏を悼む— しろばんばと、宇田さんと。	野口 智子	74～76

IV	福田宏年氏追悼 福田宏年氏を偲ぶ—とくに井上文学との関係において—	金森 誠也	108~110
	井上靖の文学の軌跡—人生を本源的に見据えて—	福田 宏年	111~113
	あとがき		

第八集 しろばんばの里—井上靖(二) (平成11年1月30日発行)

平成9年度開催の記録

I	特集・井上靖の祖父 石渡秀雄(父方) 石渡秀雄翁の椎茸製造伝習所	中村 克哉	19~25
II	記録・町民劇団による「しろばんば」上演 お礼のこぼ 町民劇団旗揚げ 町民劇団「しろばんば」上演のいきさつ	井上 修一 田村千恵美	30 31~33
III	靖をめぐる断章 井上さんと「毎日新聞」 「東京駅は怖い・・・」 井上靖先生の思い出 井上靖先生の思い出 『本覚坊遺文』の思い出 亡くなる六十五日前のこと 井上靖『孔子』の達成—孔子を描いた先行作品と対比して 故里美し 追想の中から 追慕井上靖先生 ペーターハントケの井上靖への手紙 1960年ローマオリンピックの時 あとがき	斎藤 栄一 桐原 良光 平山 信義 竹田 博志 松本 昭 秋林 哲也 渡邊 晴夫 植松 静治 澤田 角江 清水 幸子 金森 誠也 須佐 光枝	38~40 40~42 43~45 45~48 48~51 51~53 54~56 57~59 59~62 62~63 65~67 68

第九集 しろばんばの里—井上靖(三) (平成12年1月30日発行)

平成十年度開催の記録

I	特集・井上靖の岳父 足立文太郎 足立文太郎博士関係資料 家庭の主人、父親としての文太郎 私人としての祖父 足立文太郎 祖父 足立文太郎のこと 明治の学者—足立文太郎 祖父足立文太郎の思い出 足立家にお勤めして 足立文太郎—遠くて近き存在 足立文太郎先生 足立文太郎先生の遺稿 足立文太郎の人と業績について 足立文太郎の青春	井上 ふみ 足立 文興 大谷 正矩 井上 修一 浦城いくよ 榎岡 操 松下 松雄 金関 毅 鉤 スミ子 本宮かをる 傳田 朴也	7~13 13~16 17~21 21~27 28~29 30~33 33~35 36~39 40~42 42~47 47~60
II	井上靖をめぐる断章 祖父靖について	井上 方良	62~63

	北の都に秋開けて 『風濤』の時代背景 「四季の雁書」から 「氷壁」のころ 一途に井上靖先生 「わたしの孔子」のいきさつ 井上靖と旭川 井上靖のモニュメント 大正の頃の母校(湯ヶ島尋常高等小学校) 井上靖「崑崙の玉」など 井上正則氏を偲ぶ あとがき	森井 道男 李 素玲 金井 英人 石原 國利 須田 英夫 瀬戸口宣司 秋岡 康晴 大川 喜雄 浅田 忠一 梅原 實雄 城所 章	44~47 48~52 53~58 59~63 64~67 68~73 74~78 79~81 82~85 87~91 92~93
--	--	---	---

第七集 しろばんばの里—井上靖(一) (平成10年1月25日発行)

写真資料 第6回「追惜・井上靖」の記録
旧制第四高等学校時代の柔道関係

I	記念講演の記録 講演記録 「井上靖全集雑話」	曾根 博義	14
II	特集・井上靖と柔道 「北の海より」 井上靖と私—四高柔道部の生活を共にして 四高同期生として 井上さんの思い出 井上靖君を偲ぶ 井上靖先輩を偲ぶ 井上靖先生と真向法・日彊術 井上靖先生との出会い 故井上靖を悼む 高校柔道について 井上靖先輩を想いて 井上先生の思い出 井上靖先輩を偲んで 『北の海』余談 肖像画を描く 短信十二通(戸松信康氏宛)	井上 靖 宮崎 茂 山内 六郎 日月 紋次 宗宮 義正 渡辺 直 近藤 芳朗 大木 英夫 故板根英夫 西原林之介 戸松 信康 布施 秀三 布施 秀三 杉本絢之助 向井 覺 奥村宗夫他	32 33 34 36 38~39 39~41 41~43 44~46 46~49 50~51 52~56 56~59 59~61 62~63 63~65 65~69
III	靖をめぐる断章 井上靖君を偲ぶ 井上靖君の思い出 空気のような仲間 井上靖文学碑と記念館—鳥取県西伯耆に文芸の灯 かえる会・国際ペン大会のことなど 「孔子」に生きる 私の日記から 父の教え子 井上文学館・読書会雑感	足立 浩 小坂光之介 橋 知来 堀江 三 櫻田 満 井上 謙 八巻 勇 前田 薫 久保田春夫	72~75 76~80 80~82 83~86 87~91 91~94 95~98 99~101 101~105

獵銃の反響 (英文併載)	トム・コナー 43～52 (訳：鳥本幾子)
北米日本移民史に始まるおけいの悲劇 —井上靖の『わだつみ』第1巻の序章との関わりで—	鳥本 幾子 53～59
巨匠の神業—井上靖氏の『孔子』を談ず (中国語文併載)	謝 建猷 60～71 (訳：谷川栄子)
井上靖氏と中国の作家巴金氏の交流について —巴金『隋想録』から—	谷川 栄子 72～76
井上靖「カルロス四世の家族」より —井上靖と不思議な歴史画の世界—	福田 千鶴 77～83
「井上靖全集」の共同点訳を終えて	田中 靖子 84～86
井上靖先生と日仏文化交流	角田 三郎 87～90
井上翠竹	舒 乙 91～93
井上靖先生とのソ連旅行の思い出	加藤 九祚 94～105
父との北京・江南省の旅	浦城いくよ 106～108
寂しさを見つめた作家・井上靖 —「グウドル氏の手套」と「氷の下」—	鈴木 邦彦 109～112
井上靖「あした来る人」	助川 徳是 113～115
井上靖のことく青春の落款	高橋 章 116～118
星野重雄先生宅訪問記録	大川 喜雄 119～121
	山崎 一郎
写真・井上靖との交遊	

第十二集 地域文化のポリフォニー—井上靖を考える— (平成15年1月26日発行)

Quartz Clinking: The Poetry of Inoue Yasushi	Kent Hill 9～20
石英の音：井上靖の詩【訳文】	梅本 順子 21～28
散文詩人・井上靖	剣持 武彦 29～31
井上靖が観た「鉄路の白薔薇」	貫井 正也 32～34
井上靖『敦煌』と金庸『天龍八部』 —「漢民族」イデオロギーをめぐって—	呉 珍 35～39
洪作とおぬい婆さんの愛	石井 洋子 40～44
—コクトーの描いた悲劇『恐るべき子供たち』との比較—	
『補陀落渡海記』寸感	気谷 誠 45～46
小説『風濤』の風景	木佐貫 洋 47～59
—旅から学んだ韓国の人々の歴史観—	
『おろしや国酔夢譚』について	梅本 順子 60～62
井上靖先生の思い出 (ヨーロッパ旅行)	角田 三郎 63～77
孔子故郷曲阜への旅	陳 文拳 78～82
<資料紹介> 「わさび美し」原稿	
あとがき	

第十三集 天城の人と文化の融合—思い出の井上靖— (平成16年1月25日発行)

終刊に際して	立岩 博明 4
ふるさとはありたがきかな—天城湯ヶ島町への謝辞—	井上 修一 10～12
I 井上靖の思い出	

井上先生のいる風景	伊藤 暁 64～66
感謝	岩波 剛 66～68
井上靖と和田芳恵	大村彦次郎 69～71
落第担当者の記	徳島 高義 71～73
氷壁登攀、そして観音をめぐる因縁	服部 貴 74～76
井上靖讃歌	白土 吾夫 76～78
井上靖の受験数学から	新保 経彦 79～82
『あすなる物語』雑感	勝呂 奏 83～84
井上靖と花	大里恭三郎 85～86
井上靖と信州	新井巳喜雄 87～89
あとがき	

第十集 しろばんばの里—井上靖 (四) (平成13年1月28日発行)

平成11年度開催の記録	
資料・井上家 (本家) 旧蔵書目録	作成：原 祐子 10～21
I 特集・井上隼雄 (靖の父)	
井上隼雄関係資料 写真・略歴	
隼雄さんのこと	井上 ふみ 27～28
父井上隼雄	石川 静子 28～30
父の思い出	井上波満子 30～32
湯ヶ島のおじいちゃん	浦城いくよ 33～34
隼雄おじいさん	藤池 都子 35～36
隼雄大伯父の思い出	石渡 康平 37～38
井上隼雄様の思い出	月出 勉 39～40
II 井上靖をめぐると断章	
回想—井上家と相磯家のこと—	城所 章 42～44
足立文太郎の青春—井上靖へのまなざし—	傳田 朴也 45～53
冬銀河	佐藤吉之輔 54～56
おしどり—晩年の井上靖—	工藤 茂 56～58
「ある旅立ち」連想	大川 喜雄 59～61
井上靖と『氷壁』	三田 英彬 61～64
井上靖と関西の人々	峰岸 成次 65～67
ぼくの雑念—散文詩《別れ》について—	宇田 禮 68～70
作家の素顔	菊地 香 70～73
『しろばんば』の思い出	田中 利行 73～75
あとがき	

第十一集 天城湯ヶ島からの発信—国際化時代の井上靖— (平成14年1月27日発行)

天城湯ヶ島からの発信—国際化時代の井上靖—	
翻訳者の役割—ドイツで読まれる井上靖の場合	井上 修一 9～11
天才と常人 (英文併載)	ケント・ヒル 12～20 (訳：国岡直次)
英文講義案のなかから—「聖者」 (英文併載)	武田 勝彦 21～37
「あすなる物語」—在伊豆外国人が見る	A.J.レボウィッツ 38～42
獵銃の射撃：近代ヨーロッパ文学にみる	

井上靖の「美」と「美術」	秦 恒平	14～23
井上靖と私の父	金原 理	24～25
井上先生のミイラ取材記録	松本 昭	26～37
迅雷風烈	山崎 隆芳	38～44
「凜凜」－井上靖先生の思い出	有働 義彦	45～52
井上靖の思い出	齋藤 襄治	56～63
私の友 井上靖 金井廣君	星野 重雄	64～74
井上先生の思い出	松村 伸子	75～83
井上先生の思い出－二人の父－	山本安見子	84～87
笑顔	花衣 翠蝶	88～90
	花衣蝶二郎	
井上先生の思い出	角田 明弘	91～99
井上家の書庫整理のお手伝いをして	小山乃り子	100～104
II 井上靖とその周辺		
井上靖の「胡姫」－「美しい嘘」を「低い声」で語る－	鈴木 邦彦	106～109
井上靖『しろばんば』ノート	勝呂 泰	110～114
湯ヶ島から出た芥川賞候補－森田達(井上靖の実弟)	藤澤 全	115～120
思い出・断片	梅原 實雄	121～122
あとがき		124～126
「天城湯ヶ島ふるさと叢書」総目次		128～136

天城湯ヶ島ふるさと叢書第十三集
天城の人と文化の融合 — 思い出の井上靖 —

発行日 平成十六年一月二十五日
編集 〔天城湯ヶ島ふるさと叢書〕編集委員会
伊藤春秀・大川喜雄・傳田朴也・藤澤全
城所 章・内田和昌・塩谷 篤・安藤裕夫
編集協力 井上靖記念文化財団
発行 天城湯ヶ島町／天城湯ヶ島町教育委員会
印刷 株式会社 長田文化堂
静岡市豊田三丁目十番五号
TEL 〇五四―二八五―二五二